

(参考)クロスセクター効果の算出ガイドライン

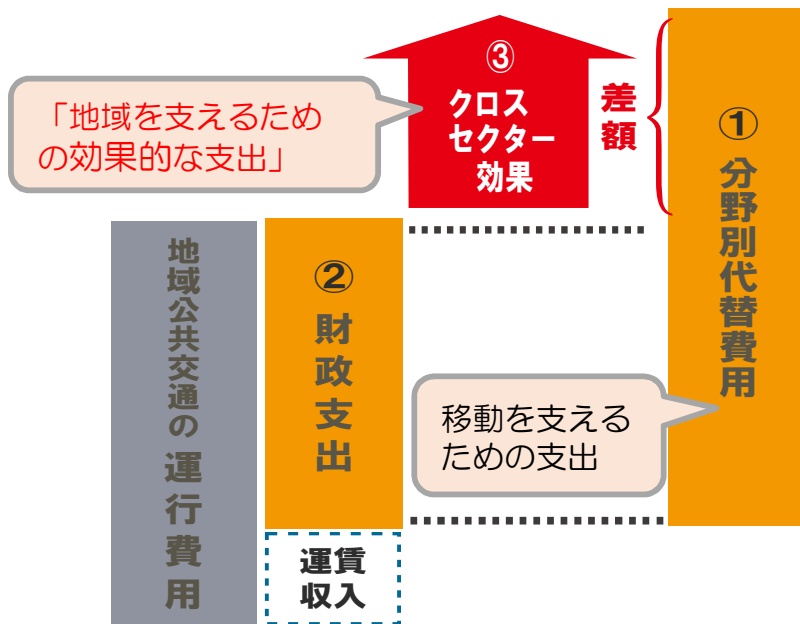
地域公共交通のクロスセクター効果とは

地域公共交通を代替するのに追加的に必要となる多様な行政部門の分野別代替費用と、運行に対して行政が負担している財政支出を比較することにより把握できる**地域公共交通の多面的な効果**。

クロスセクター効果を算出する意義

- ・地域公共交通のクロスセクター効果として定量的に提示することで、財政支出・支援の必要性をより可視化することが可能。
- ・地域公共交通への支援の意義を行政内で共有でき、より利用者にとって使いやすい**地域公共交通計画の実現が可能**。

地域公共交通のクロスセクター効果のイメージ・事例



近江鉄道線を維持存続する方が、近江鉄道線を廃止して代替施策を実施するよりも効果的

近江鉄道線の代わりに医療・教育・建設等の多様な分野で代替施策を実施した場合の費用は19.1億円/年以上となり、近江鉄道線の国・県・市町の財政支出と事業損失額の合計である6.7億円/年を大きく上回ることが確認された。